

## 岩手県滝沢市のトンボ相 (2) —東部地域を主たる調査地として—

佐々木 全<sup>1</sup> 佐々木 悠太<sup>2</sup> 渡辺 修二<sup>3</sup>

Dragonfly fauna in Takizawa City, Iwate Prefecture Part 2 : a survey in Toubu area

Zen SASAKI<sup>1</sup>, Yuta SASAKI<sup>2</sup>, Shuji WATANABE<sup>3</sup>

1 岩手大学 020-8550 盛岡市上田3丁目18-33 Iwate University, 3-18-33, Morioka City, 020-8550, Japan.

2 滝沢市 Takizawa City, Japan

3 岩手県立博物館 Iwate Prefectural Museum

### Abstract

We conducted a survey in Takizawa City, Iwate Prefecture, as part of a continuing study to clarify the dragonfly fauna. As a result, 45 species from ten families were identified. Three species from three families were newly confirmed.

### はじめに

岩手県滝沢市は、岩手県中部に位置し、東西約 14 km, 南北約 20 km, 総面積 4.6 km<sup>2</sup>, 人口 55,335 名 (2022 年 11 月 30 日現在) の地域であり、稲、野菜、酪農等を主体とした都市近郊農業地帯である。北西部に位置する岩手山や春子谷地に象徴される豊かな自然環境を有している。これに相応のトンボ相が期待されるが、滝沢市全域におけるトンボ相は明らかではない。

そこで、過去の調査記録 (滝沢村教育委員会 2006, 沼宮内 2008) を踏まえつつ、今日のトンボ相を明らかにすることを目的とし、その端緒として南部に位置する 4 地域 (大釜地域、篠木地域、大沢地域、鶉飼地域) での調査を 2021 年に実施し、滝沢の既知種を 10 科 60 種とした (佐々木ほか 2022b)。

本調査はこれに続くものであり、東部に位置する 1 地域 (東部地域) のトンボ相を明らかにするものである。

### 方法

滝沢市の東部地域において、トンボの生息地あるいは飛来地であり、安全に調査が実施できると判断された次の地点を調査地とした。すなわち、①岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター滝

沢農場 (池と田園を含む平坦地帯、以下滝沢農場と記す)、②岩手県滝沢森林公園 (池と森林を含む平坦及び緩傾斜地帯、以下森林公園と記す) である。なお、いずれも滝沢市菓子に所在する。

各調査地においては、2022 年の 5 月半ばから 10 月半ばまで、1 回 2 時間程度、月 2 回程度訪問した。発見した個体は目視または捕獲し、図鑑「ネイチャーガイド日本のトンボ」(尾園ほか 2012) に基づき種と雌雄の別を同定した。捕獲した個体は、写真撮影をした後リリースした。写真撮影は、自動で撮影日および位置情報が記録されるよう設定したカメラを用いた。個体数については、「1 頭 (単独)」「2~3 頭 (少数)」「4~9 頭 (普通)」「10 頭以上 (多数)」として概算にて記録した。

なお、以下の 2 点を本調査の記録に加えた。すなわち、①森林公園の管理者が所蔵する標本である。これは、森林公園における確認種に加えた。②南部に位置する 4 地域での追跡調査 (不定期) によって確認された各地域における初記録の種である。

### 結果

東部地域の各調査地において、10 科 37 種 (滝沢農場では 5 科 25 種、森林公園では 10 科 28 種) が確認され

た。また、滝沢市南部における追跡調査での確認種4科10種を加えると、10科45種が確認された。

このリストを以下に示した。種の掲載順及び学名は「ネイチャーガイド 日本のトンボ」(尾園ほか 2012)に従った。また、各調査地における確認種を表1に示した。

#### アオイトトンボ科 Lestidae

オツネトンボ *Sympecma paedisca* (Brauer, 1877)  
 ホソミオツネトンボ *Indolestes peregrinus* (Ris, 1916)  
 アオイトトンボ *Lestes sponsa* (Hansemann, 1823)  
 オオアオイトトンボ *Lestes temporalis* Selys, 1883  
 ただし、アオイトトンボは滝沢農場に限られた。

#### カワトンボ科 Calopterygidae

ニホンカワトンボ *Mnais costalis* Selys, 1869  
 ハグロトンボ *Atrocalopteryx atrata* (Selys, 1853)  
 ただし、いずれの種も森林公園に限られた。

#### モノサシトンボ科 Platycnemididae

モノサシトンボ *Pseudocoperia annulata* (Selys, 1863)  
 ただし、本種は森林公園に限られた。

#### イトトンボ科 Coenagrionidae

キイトトンボ *Ceriagrion melanurum* Selys, 1876  
 オゼイトトンボ *Coenagrion terue* (Asahina, 1949)  
 クロイトトンボ *Paracercion calamorum* (Ris, 1916)  
 セスジイトトンボ *Paracercion hieroglyphicum* (Brauer, 1865)  
 オオイトトンボ *Paracercion sieboldii* (Selys, 1876)  
 モートンイトトンボ *Mortonagrion selenion* (Ris, 1916)  
 ルリイトトンボ *Enallagma circulatum* Selys, 1883  
 アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* Brauer, 1865  
 ただし、キイトトンボは滝沢農場に、クロイトトンボは森林公園に限られた。オゼイトトンボは大沢地域に限られた。オオイトトンボ(写真1)は滝沢農場と鶺鴒地域で確認されたが、これは、滝沢市での初記録であった。また、セスジイトトンボ(写真2)、ルリイトトンボ(写真3)、モートンイトトンボは鶺鴒地域における初記録であった。

#### ヤンマ科 Aeshnidae

ミルンヤンマ *Planaeschna milnei* (Selys, 1883)  
 オオルリボシヤンマ *Aeshna crenata* Hagen, 1856

ギンヤンマ *Anax parthenope* (Selys, 1839)  
 クロスジギンヤンマ *Anax nigrofasciatus* Oguma, 1915  
 ただし、ミルンヤンマとクロスジギンヤンマは森林公園に限られた。ミルンヤンマは、所蔵標本であった。なお、ミルンヤンマについては、森林公園の池から流れ出す水路にて、それらしき個体の飛翔を確認したものの、捕獲できず種を同定するには至らなかった。

#### サナエトンボ科 Gomphidae

コオニヤンマ *Sieboldius albardae* Selys, 1886  
 アオサナエ *Nihongomphus viridis* Oguma, 1926  
 ダビドサナエ *Davidius nanus* (Selys, 1869)  
 モイワサナエ *Davidius moiwanus* (Okumura, 1935)  
 ヒメクロサナエ *Lanthus fujiacus* (Fraser, 1936)  
 ただし、コオニヤンマとアオサナエ(写真4)は鶺鴒地域に限られ、当地初記録であった。アオサナエは滝沢市における初記録でもあった(佐々木ら, 2022c)。ダビドサナエはその他の鶺鴒地域および大沢地域における初記録であった。モイワサナエとヒメクロサナエは森林公園に限られた。

#### オニヤンマ科 Cordulegastridae

オニヤンマ *Anotogaster sieboldii* (Selys, 1854)

#### エゾトンボ科 Corduliidae

タカネトンボ *Somatochlora uchidai* Förster, 1909  
 ただし、本種は森林公園に限られ、所蔵標本であった。

#### ヤマトンボ科 Macromiidae

オオヤマトンボ *Epophthalmia elegans* (Brauer, 1865)  
 コヤマトンボ *Macromia amphigena* Selys, 1871  
 ただし、いずれの種も森林公園に限られた。また、コヤマトンボは森林公園の所蔵標本であった。

表 1 各調査地における確認種

科	種 (和名)	滝沢農場	滝沢森林公園	滝沢森林公園 (所蔵標本)	滝沢市におけるその他の地域 (当地初記録のみ)	佐々木・佐々木・ 渡辺 (2022a)	滝沢市教育委員 会 (2006)	春子谷地生物相 調査グループ (2008)	備考
アオイイトトンボ科	オツネイトトンボ	****♂♀	○ (2018. 6. 23)			○	○	○	
	ホソミオツネイトトンボ	****♂♀	○ (2018. 6. 23; 2019. 6. 22)		大沢地域 **♂ (2022. 6. 11; 6. 25; 6. 26; 7. 3.)	○	○	○	
	アオイイトトンボ	***♂				○	○	○	
	オオアオイイトトンボ	**♂□				○			
カワトンボ科	ニホンカワトンボ	**♂♀	○ (2018. 6. 23; 2019. 6. 22; 2020. 6. 20)			○	○	○	
	ハグロトンボ	**♂♀	○ (2013. 7. 26)			○	○		
モノサシトンボ科	モノサシトンボ	**♂	○ (2018. 6. 23; 2019. 6. 22)			○	○		
イトトンボ科	キイトトンボ	***♂♀				○	○	○	
	オゼイトトンボ				大沢地域 ***♂♀ (2022. 6. 11.)				
	クロイトトンボ	****♂♀	○ (2018. 6. 23; 2020. 6. 20; 2021. 6. 19; 2022. 6. 18)			○			
	セスジイトトンボ	**♂□			鵜飼地域 *♀ (2022. 7. 23)	○			
	オオイイトトンボ				鵜飼地域 ***♂ (2022. 7. 30; 7. 31)				滝沢市初記録
	モートンイトトンボ				鵜飼地域 ***♂♀ (2022. 6. 26; 7. 3; 7. 31; 8. 14)	○	○	○	環境省レッドリスト準絶滅危惧種、 岩手レッドデータブックDランク
	ルリイトトンボ	***♂♀			鵜飼地域 *♂ (2022. 7. 14)	○	○	○	岩手レッドデータブックDランク
ヤンマ科	アジアイトトンボ	***♂♀				○	○	○	
	ミルンヤンマ		○ (2005. 9. 17)			○	○	○	(幼虫のみ)
	オオルリボシヤンマ	**♂♀産	○ (2007. 8. 15)			○	○	○	
	ギンヤンマ	***♂♀	○ (2009. 9. 3)			○	○	○	
	クロスジギンヤンマ	*♂♀	○ (2018. 6. 23)			○	○	○	
サナエ科	コオニヤンマ				鵜飼地域 *♂ (2022. 7. 8)	○			滝沢市初記録 (佐々木ら, 2022c); 岩手レッドデータブックD ランク
	アオサナエ				鵜飼地域 *♂ (2022. 7. 9)				
	ダビドサナエ				大沢地域 ***♂♀ (2022. 6. 25; 6. 26.)	○			
	モイワサナエ	****♂♀	○ (2018. 6. 18; 2022. 6. 18)		鵜飼地域 *♂ (2022. 7. 3)	○	○	○	
	ヒメクロサナエ	****♂♀	○ (2019. 6. 22)			○	○	○	
オニヤンマ科	オニヤンマ	**♂♀	○ (2004. 月日不明)		○	○	○		
エントトンボ科	タカネトンボ		○ (2004. 8. 16; 2007. 8. 1; 年月日不明)		○				
ヤマトトンボ科	オオヤマトトンボ	*♀				○			
	コヤマトトンボ		○ (2022. 6. 18)			○			

滝沢市初記録 (佐々木ら, 2022d)							
スナアカネ	*♂						
ナツアカネ	***♂♀			○	○	○	○
リスアカネ	***♂♀			○	○	○	○
ノシメトンボ	***♂♀		○ (2015. 8. 12)	○	○	○	○
アキアカネ	***♂♀			○	○	○	○
コノシメトンボ	*♂			○	○	○	○
マユタテアカネ	**♂♀			○	○	○	○
マイコアカネ	**♂♀			○	○	○	○
ミヤマアカネ			○ (2006. 8. 12)	○	○	○	○
コシアキトンボ			○ (2021. 6. 19 ; 2022. 6. 18)	○	○	○	○
コフキトンボ	*♀			○	○	○	○
ショウジョウトンボ	**♂♀			○	○	○	○
ウスバキトンボ	***♂♀			○	○	○	○
ハラビロトンボ	**♂♀			○	○	○	○
シオカラトンボ	*♂		○ (2006. 8. 13)	○	○	○	○
シオヤトンボ	*♂			○	○	○	○
ヨツボシトンボ				○	○	○	○

大沢地域 ♀ (2022. 7. 3.)

\*1頭 (単独), \*\*2~3頭 (少数), \*\*\*4~9頭 (普通), \*\*\*\*10頭以上 (多数)

トンボ科 Libellulidae

- スナアカネ *Sympetrum fonscolombii* (Selys, 1840)
- ナツアカネ *Sympetrum darwinianum* (Selys, 1883)
- リスアカネ *Sympetrum risi* Bartenev, 1914
- ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum* (Selys, 1883)
- アキアカネ *Sympetrum frequens* (Selys, 1883)
- コノシメトンボ *Sympetrum baccha* (Selys, 1884)
- マユタテアカネ *Sympetrum eroticum* (Selys, 1883)
- マイコアカネ *Sympetrum kunckeli* (Selys, 1884)
- ミヤマアカネ *Sympetrum pedemontanum* (Allioni, 1766)
- コシアキトンボ *Pseudothemis zonata* (Burmeister, 1839)
- コフキトンボ *Deiella phaon* (Selys, 1883)
- ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia* Drury, 1770
- ウスバキトンボ *Pantala flavescens* (Fabricius, 1798)
- ハラビロトンボ *Lyriothemis pachygastra* (Selys, 1878)
- シオカラトンボ *Orthetrum albistylum* (Selys, 1848)
- シオヤトンボ *Orthetrum japonicum* (Uhler, 1858)
- ヨツボシトンボ *Libellula quadrimaculata* Linnaeus, 1758

ただし、スナアカネ、リスアカネ、マユタテアカネ、マイコアカネ、ハラビロトンボ、シオヤトンボは、滝沢農場に限られた。このうち、スナアカネ (写真 5) は滝沢市における初記録であった (佐々木ら 2022d)。ミヤマアカネは森林公園の所蔵標本であり、コシアキトンボは森林公園に限られた。ヨツボシトンボは、大沢地域における初記録であった。



写真 1 オオイトトンボ ♂ (鶺鴒地域, 2022. 7. 30)



写真 2 セスジイトトンボ ♀ (鶺鴒地域, 2022. 7. 23)



写真 3 ルリイトトンボ ♂ (鶺鴒地域, 2022. 7. 14)



写真 4 アオサナエ ♂ (鶺鴒地域, 2022. 7. 9)



写真 5 スナアカネ ♂ (巢子地域, 2022. 8. 20)

考察

本調査で滝沢市東部地域での確認種に南部の 4 地域における追跡調査での確認種を加えた 10 科 45 種について、既知種である 10 科 60 種 (滝沢市教育委員会 2006, 春子谷地生物相調査グループ 2008, 佐々木ほか 2022b) と対照したところ、8 科 10 種 (ミヤマカワトンボ, カラカネイトトンボ, エゾイトトンボ, ムカシトンボ, サラサヤンマ, ウチワヤンマ, ムカシヤンマ, カラカネトンボ, ヒメアカネ, ハッチョウトンボ) が確認されなかった。一方で、3 科 3 種 (オオイトトンボ, アオサナエ, スナアカネ) が新たに確認された。以上から滝沢市における既知種は 10 科 63 種となった。

また、環境省レッドリスト (環境省 2020) ならびに岩手レッドデータブック (岩手県環境生活部自然保護

課 2014) と対照させたところ、モートンイトトンボが準絶滅危惧種かつ D ランク、ルリイトトンボとアオサナエが、D ランクとされていた。

なお、セスジイトトンボは、これまで岩手県内の内陸部における北限が紫波町とされていた(中谷 1992a, 1992b) が、本調査を含め、近年、盛岡市(佐々木・渡辺 2021, 佐々木ほか 2022a)や滝沢市(佐々木ほか 2022b)で確認がなされている。なお、岩手県立博物館所蔵の標本では、盛岡市で採集されたセスジイトトンボ(1979.7.18 岩手県立博物館所蔵標本番号 15366)があったが、これまで盛岡市における確認種であること、ならびに岩手県における内陸部での北限の更新が明記されていなかった。改めて、セスジイトトンボの岩手県内陸部での北限が紫波町から盛岡市、さらには滝沢市に更新されたことを付記する。

ルリイトトンボは、北海道には広く分布するが、本州では比較的標高の高いところに生息し、分布が局限している(尾園ほか 2012)。岩手県では八幡平市、奥州市、雫石町(環境庁編 1980)の他、滝沢市の春子谷地で報告されている(沼宮内 2008)。春子谷地での採集記録は 2002 年の 1 頭だけであり、それ以前に行われた調査では確認されていないことから、偶発的に周辺の山岳地帯から移動してきたものと考えられている(沼宮内 2008)。今回の確認した個体も鶴飼の滝沢総合公園での 1 頭だけであり、偶産種である可能性が高い。

引き続き、滝沢市内他地域における調査を実施し、市内全域のトンボ相を明らかにしたい。

## 謝辞

本調査に際しては、各調査地管理者によるご了解をいただきました。特に、岩手県滝沢森林公園指定管理者 小岩井農牧株式会社 岩手県滝沢森林公園 所長 斉藤友彦様、岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター滝沢農場の由比 進様のご厚意を賜りました。記して感謝申し上げます。

## 引用文献

- 岩手県環境生活部自然保護課(2014)いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物 web 版。  
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0316/rdb/index.html> (参照 2022/12/24)。
- 岩手県滝沢村教育委員会(2006)滝沢村野生生物分布調査報告書。滝沢村文化財調査報告書 33 集, 189。

環境庁(編)(1980)日本の重要な昆虫類 東北版。環境庁

環境省(2020)環境省レッドリスト。

<https://www.env.go.jp/press/107905.html> (参照 2022/12/24)。

中谷充(1992a)セスジイトトンボ紫波町に分布する。岩手虫乃會會報, 18: 12。

中谷充(1992b)セスジイトトンボの分布について。岩手虫乃會會報, 19: 12。

沼宮内耕作(2008)春子谷地におけるトンボ目の記録。春子谷地生物相調査報告書, pp24-26。春子谷地生物相調査グループ。

尾園暁・川島逸郎・二橋亮(2012)ネイチャーガイド トンボ図鑑。文一総合出版。

佐々木全・渡辺修二(2021)岩手大学キャンパス「北水の池」におけるトンボ相-生活科教育法における題材開発のための基礎資料-。岩手大学教育学部研究年報, 80: 41-56。

佐々木全・佐々木悠太・渡辺修二(2022a) 岩手大学キャンパスのトンボ相-準絶滅危惧種マダラヤンマの採集記録を含めて-。岩手県立博物館研究報告, 39: 8-12。

佐々木全・佐々木悠太・渡辺修二(2022b) 岩手県滝沢市のトンボ相-大釜・篠木・大沢・鶴飼地域を調査地として-。岩手県立博物館研究報告, 39: 13-18。

佐々木全・佐々木悠太・渡辺修二(2022c)アオサナエの岩手県における北限-滝沢市における採集記録-。月刊むし, 621: 62。

佐々木全・佐々木悠太・渡辺修二(2022d) 岩手県の内陸部においてスナアカネを記録-。月刊むし, 623: 51-52。

## 要 旨

岩手県滝沢市のトンボ相を明らかにすることを目的とする継続調査で、同市の東部地域を調査し、10科37種(滝沢農場では5科25種、森林公園では10科28種)が確認された。また、滝沢市の他地域での確認種4科10種を加え、10科45種が確認された。このうち、3科3種が新たに確認された。この結果、滝沢市における既知種は10科63種となった。

**キーワード:** トンボ相, 滝沢市, 東部地域